

木曽町J-クレジット
～ 木曽川上流域からきれいな水を～
プロジェクトについて

平成28年3月15日

第3回地球温暖化に関する中部カンファレンス

長野県 木曾町



木曾町は、平成17年11月1日に
木曾福島町・日義村・開田村・三岳村 の
4町村が合併して誕生しました。



木曾町の位置

交通アクセス

JR

名古屋から 1時間30分
(特急しなの号 名古屋 - 木曾福島)

新宿から 3時間20分

大阪から 2時間40分

自動車

名古屋から 2時間30分
(名古屋高速 - 中央道中津川IC - R19)

東京から 3時間45分

高山市から 1時間30分



木曽町の概要

人口 11,870人 (H28.3.1)
世帯数 5,040世帯 高齢化率 38.74%
標高 774.8m(本庁位置) 開田支所1,108m
総面積 476.03km² (長野県町村では最も広い)
土地利用状況

森林90.3% 農地2.8% 宅地1.4% その他5.5%

産業別就業者率(H22)

第1次産業8.65% 第2次産業22.6% 第3次産業68.5%

ゴルフ場、冬季間のスキー場など第3次産業従事者が多い



きそふくしまスキー場



御岳ロープウェイ



木曽駒高原CC

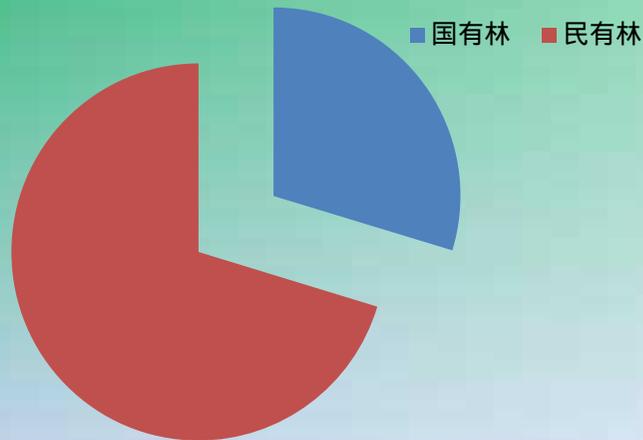


木曽馬の里

木曽町の森林の概要

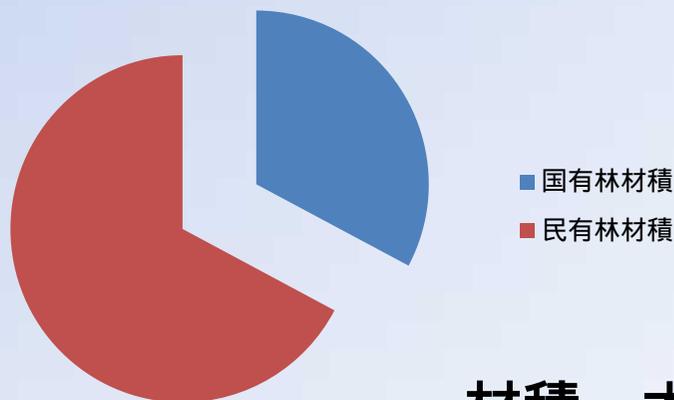
木曽町森林資源構成								面積(ha)		
	木曽町 地域総面積	国有林	民有林				合計	森林率：%		
			公有林	内：町有林	私有林	計				
	47,603	12,772	2,652	1,980	27,605	30,257	43,029	90.39		
	資源構成	スギ	ヒノキ	サワラ	アカマツ	カラマツ	他針葉樹	広葉樹	無立木地	合計
面積 (ha)	国有林	23.42	2,124.77	908.06	37.89	2,441.18	4,497.63	1,397.40	1,341.26	12,771.61
	民有林	266.92	4,038.54	263.65	3,590.78	8,024.92	335.84	13,454.31	282.05	30,257.01
	内：町有林	0.97	506.14	8.72	151.89	585.74	15.46	662.91	48.07	1,979.90
材積 (m ³)	国有林	6,224	527,693	270,760	12,686	485,242	962,813	311,101	0	2,576,519
	民有林	92,368	802,245	72,432	822,918	2,089,279	62,422	1,399,538	0	5,341,202
	内：町有林	289	113,719	2,487	34,264	142,733	2,955	91,310	0	387,757

木曾町の総面積 47,603haのうち、森林面積は43,029ha(90.39%)



うち、国有林面積 12,772ha(約30%)
民有林面積 30,257ha(約70%)

木曾町の総材積 7,917,721m³のうち、



国有林2,576,519m³(約33%)
民有林5,341,202m³(約67%)

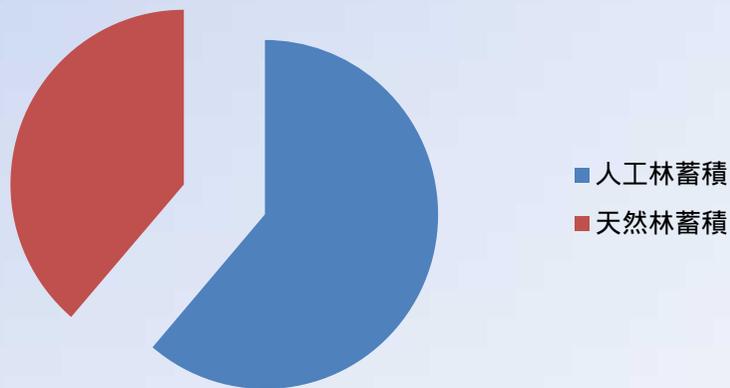
材積・木の体積 太さ36cm 高さ24mで1m³(1本)

民有林総面積 30,257haのうち、



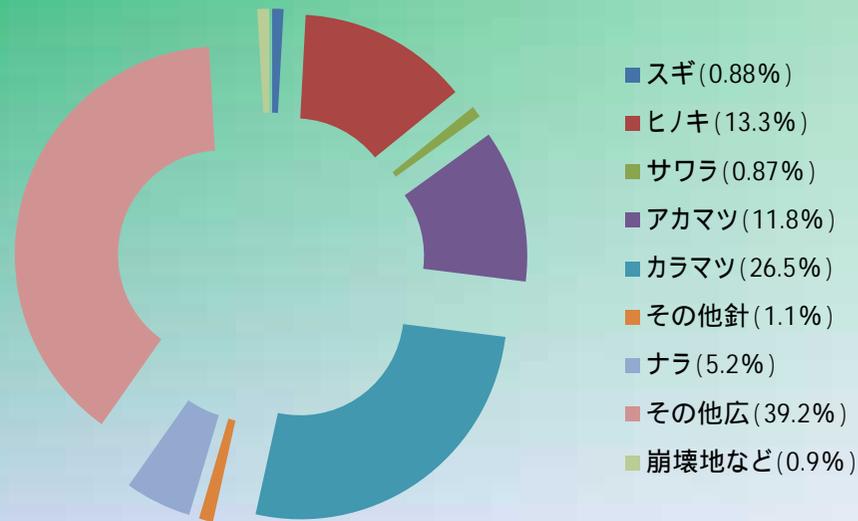
人工林面積 13,778ha(約45%)
天然林面積 16,197ha(約54%)
その他、がけや竹林、岩石地など

民有林総材積 5,341,202m³のうち、

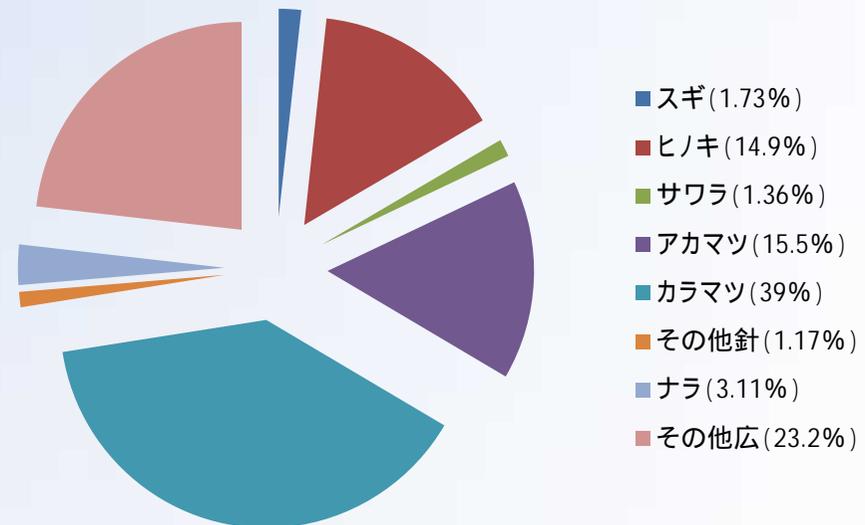


人工林3,282,329m³(約61%)
天然林2,058,869m³(約38%)
その他、更新困難地

民有林総面積 30,257haのうち、



民有林総材積 5,341,202m³のうち、



森林整備の役割

間伐実施前



隣同士の枝葉が重なり合い、お互いの成長を阻害しています。

間伐実施後



枝葉を広げて成長し、健全に成長していきます。

その他、下刈・除伐・枝打ちなど多様な森林整備が必要です。成長した木材は外に運び出され、活用されます



林業専用道開設
 伐倒 集材 小運搬 運材で市場へ
 ……木材の活用



クマ皮剥防止テープ巻



下刈



時にはぬかるみに… 11

皆様からもご協力いただいています

平成の名古屋市民の森づくり(名古屋市)

・名古屋城本丸御殿復元事業で木曽ヒノキを使用することから、使用するだけでなく植栽・育樹により上流域の豊かな自然環境を将来に残すため、H21から毎年120人もの市民がヒノキ・広葉樹を植栽いただいています。



NPO法人 緑の挑戦者(名古屋市)

・「みんなで森を育てよう！」を合言葉に、命を守る水を生み出す森づくりのため、市民自らの手でH16から毎年除間伐・枝打ち等森林整備を実施いただいております。



カーボンオフセットとは

自らの活動(事業活動や商品の製造、日常生活)から排出される温室効果ガス(カーボン)について、排出量を把握し、削減努力を行った上で、どうしても削減できない温室効果ガスの量の全部または一部を、他の場所で行われた削減・吸収活動に資金の提供(クレジットの購入)を行うことで埋め合わせる(オフセット)ことを言います



J-クレジット制度とは

- 環境省、経済産業省、農林水産省が3省合同でカーボン・オフセットに用いる温室効果ガスの排出削減量・吸収量を信頼性のあるものとするため、国内の排出削減活動や森林整備によって生じた排出削減・吸収量を認証する「J-クレジット制度」を創設



木曾町の取組み

- 長野県内では、市町村初めての取組み
- J-クレジット制度で承認された方法論により、森林経営活動(町有林整備)を実施
- 地上部・地下部バイオマスにより吸収量が増大(森林整備が実施されることにより、森林がより多く温室効果ガスを吸収する)
- 森林整備で増加した吸収量をクレジット化し(数値として見える化)、カーボンオフセットに取り組む企業・団体に販売

クレジット発行まで

- ・ H26.6 ~ H27.2 プロジェクト計画策定
対象森林の選定や森林整備の計画等の策定
- ・ H27.3 プロジェクト計画登録
木曽町の計画が妥当か審査され、登録される
- ・ H27.4 ~ H27.6 モニタリング調査
対象森林成長量調査や測量など現地調査



- ・ H27.7 クレジット認証・発行される

- 認証量 約127t-Co₂(二酸化炭素トン)
(平成26年度中に吸収した温室効果ガスの量)
対象森林 20.67ha(ヒノキ町有林)
- 販売開始 H27.9~
- 販売金額 16,200円/t(税込み)
- 販売量 27t 4社(H28.2.24現在)
- 販売手続 購入申込→契約→入金
- 今後の売れ行きを踏まえ、H28以降も認証申請し
販売予定

クレジットの購入効果

- CSR【企業価値の向上】

地球温暖化への関心が高まるとともに、温暖化対策に取り組む企業への評価

消費者・取引先・株主等にアピール・イメージアップ

- ・コスト削減【経営の効率化】

温室効果ガス排出の算定過程で排出量の「見える化」により、工程の見直しや無駄の削減

温室効果ガスのコスト認識による削減のインセンティブの可能性

事業活動オフセット

・企業等が生産活動、事業活動で排出されるCO₂を全て、または一部をオフセット

- ・製品製造に伴う排出
- ・社用車等からの排出
- ・オフィス(電気・PC等)に伴う排出など・・・

まずは、自らの排出量を把握すること(知って)

削減努力をし、(減らして)

減らせないものを埋め合わせ(オフセット)

事業活動型オフセットの活用例

“コープながの”

- ・商品の配達車両や事業所からの排出量をオフセット及び地域貢献・組合員への周知など
- ・削減努力をし、最終的な手段として木曽町クレジットでオフセット





“カルビー(株)カルネコ事業部”

- 商品の製造に伴う排出量をオフセット

外装材やPOP等すべての販促提供物製造に伴うCO2をEVIを通じたクレジットでオフセット

寄附型オフセットの活用例

“おんたけ有機合同会社”木曾川ゴーフレット

- クレジット付き商品の販売(例.1個購入することにより1円が森林整備に)



カーボンオフセット付商品

購入代金の一部が
森林整備にあてられる

イベント等での活用例

“木曽町観光協会”

雪灯りの散歩道・白川氷柱群ライトアップ

イベントで排出されるCO₂をオフセット

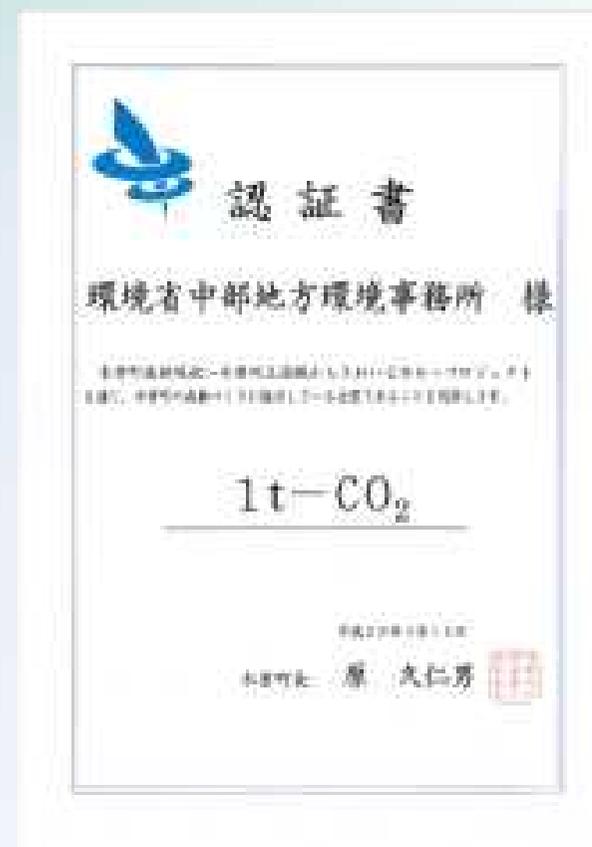
- イベント・会議(参加者移動手段・会場照明等)
環境に配慮したイベント



“環境省中部地方環境事務所 主催”

第3回地球温暖化に関する中部カンファレンス～
緩和と適応へのアプローチ：食糧を考える～

当日の会場で排出される
温室効果ガスをオフセット



売却益の活用

- H27年度木曾町森林整備予算45,000千円のうち一般財源は36,000千円
- うち、町有林整備に16,438千円
民有林整備補助に28,562千円を拠出
年間600haの森林整備を実施
- 木曾町の総面積47,606haの90%は森林。うち民有林は約70%
- 購入いただいた売却益により、更なる森林整備の推進を図ります！

森林整備への思い

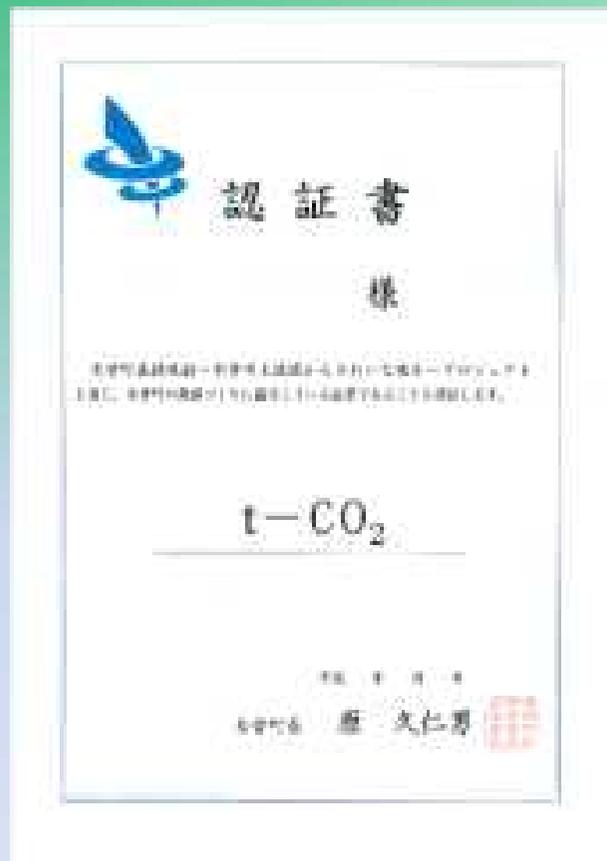
- 面積の大部分を森林が占める木曽町。森林は降り注ぐ雨を蓄え浄化し、ゆっくりと木曽川へ流れ込み、東海地方の重要な水源となっています。

上流域からきれいな水を提供したい

そんな思いで森林整備を推進しています。



購入いただいた際には・・・



木曽町の森林整備にご協力いただいた認証書をお贈りします。10トン以上購入された方には木曽ヒノキ製の自立式認証書をお贈りします！